



めじろん共創応援基金
助成事業レポート

2012-2014

公益財団法人 おおいた共創基金

「めじろん共創応援基金」とは

『めじろん共創応援基金』は、行政、民間といった従来の制度的枠組みでは十分に対応しきれない新しい地域課題を解決するために、公益活動を支援したいとする県民から必要な資金を募り、これをボランティア団体、NPO法人、コミュニティ団体等の活動支援に活用します。これにより県民全体での公益活動を強化するとともに、すべての主体が公益を支える地域社会を創造します。

活動の5つの柱

- 1 **資金的活動基盤強化** (提案事業に対する助成)
 - 提案型NPO等チャレンジ事業 (50万円以内/団体)
企画を公募し、優れた提案に対して経費を助成し、事業運営能力を備えたNPO等の育成を図ります。
 - ソーシャルビジネスプラン磨き事業
 - 冠助成・冠褒章事業
寄附者が独自に助成金・表彰プログラムをつくることができます。
- 2 **運営的活動基盤強化** (相談業務、運営アドバイザーの派遣、情報提供、各種講座開催)
- 3 **地域課題の分析と研究**
- 4 **基金の強化** (広報、募金、寄附のための活動)
- 5 **経常的業務**

「めじろん共創応援基金」の運営

資金と情報の循環



採択年度

2013
(H25)

第1回中国木材(株)冠助成事業(30万円)

採択団体 **NPO法人 やまもりの会**

助成の
成果

助成金を活用し佐伯市の里山に次世代の担い手である子どもたちのための森林体験学習の拠点を設置し、市民がいつでも体験学習できるフィールドを整備しました。この森林体験学習の拠点を活用し、児童や一般県民を対象に、木に対する親しみや木の文化、森林機能への理解を深める「森林環境学習会」を4回開催することができ、地域の木育活動に取り組むことができました。単発的な学習会への参加に終わらせず、継続的な森林体験学習活動を実現していきたいと考えています。



中国木材株式会社

これまで利用が難しいとされた国産スギの曲り材や欠点材を有効利用する為に、強度に優れるベイマツと国産スギを組み合わせた異樹種集成材の「ハイブリッド・ビーム」を創製するなど、わが国の木材業界のリーディングカンパニーです。平成25、26年度は中国木材(株)より協賛をいただきました。

2012
(H24)

第1回提案型NPO等チャレンジ事業

採択団体 任意団体 チャイルドラインおおいた

助成の
成果

チャイルドラインは、18歳までの子どもなら、嬉しいこと、悲しいこと、さみしいこと、困っていること・・・どんな内容でもかけることができます。ごく身近な人たちとふれあうことがむずかしい今の子どもたちの声に耳を傾け、受けとめることで、ホッと安心できる「場」を提供することを目的とした子ども専用電話です。

助成金のお蔭で、子どもたちへの電話番号を知らせるカードの枚数を増やし、県下の小学生、中学生、高校生、支援学校生すべてに配布することができました。さらに、電話の受け手となるボランティアスタッフの増員や啓発フォーラムを開くことができたことで地域社会に認知され始めたと感じています。

2013
(H25)

第2回提案型NPO等チャレンジ事業

採択団体 任意団体 ハートフルウェーブ

助成の
成果

様々な理由で学校から足が遠のいた生徒の居場所を提供し、進学のための学習サポート、自立のためのカウンセリングサポートを行うフリースクールを運営しています。公的支援施設で支援を受けられない子どもたちの増加が予想され、こうしたフリースクールの必要性は今後も続きます。昨年、めじろん共創応援基金の助成を受け「不登校」に関する講座を開講し、多くの方にハートフルウェーブの存在と「不登校」を知っていただけました。これからも子どもたちを支援していくために、フリースクールの広報と関係者の育成の必要性を痛感しています。

2014
(H26)

第3回提案型NPO等チャレンジ事業

採択団体 任意団体 星の会(不登校を考える親の会)

助成の
成果

星の会は、21年前に会員数5名で不登校を考える親の会として佐伯市に発足し、大分市、津久見市、別府市、豊後大野市、宇佐市で順次結成され、会員数200名になっています。星の会は、子どもに安心感を与えることが親の会としての役割だと考えています。悩みを抱え込むのではなく、同じ悩みを持った親同士が悩みを聴きあうことにより、悩み苦しんでいるのは自分ひとりではないことを実感し、安心することができるのです。星の会は、気づきを中心に「セルフ・ヘルプ・グループ」として活動しています。

めじろん共創応援基金の助成を受けて、不登校を考えるリレー講演会を6月20日に宇佐市、7月19日に由布市、10月11日に臼杵市、10月25日に大分市で開催する予定であり、さらに、サポーターの育成を図りながら、活動の範囲を広げるとともに、組織的な対応ができるようにしていきたい。



第2回中国木材(株)冠助成事業

森林保全活動に取り組む団体に対し、大分県内の森林保全のために使用する「チェーンソー」と「刈払い機」を中国木材(株)より当財団の冠助成事業に協賛いただきました。

助成の成果

チェーンソー



採択団体 NPO法人 水辺に遊ぶ会

中津市の沿岸には国内屈指の干潟が広がり、豊かな自然環境が残されています。「生きもの元気、子どもも元気、漁師さんも元気な中津干潟」を目標に、水辺に遊ぶ会は様々な干潟と水辺環境の保全活動を行っています。



採択団体 NPO法人 やまもりの会

伐採放棄地での植林や、未利用木質資源の利活用、林業後継者や森林作業を担う人たちへの支援、未来を担う子どもたちに日本の豊かな森林環境を残すための学習会や植樹などの活動を佐伯市を中心に行っています。



採択団体 任意団体 うーたの会

山林環境、平地環境、水辺環境の各整備の作業活動によりいにしえに思いを馳せた「まちなかの里山ビオトープ」の再生・保全が進んでいます。そして豊かな生物多様を活かした環境教育、地域のふれあい等、地域創生を果たしています。



刈払い機



採択団体 NPO法人 碧い海の会

地球の自然環境を次世代に引き継ぐため、「よい水、よい空気、よい土壌を作ろう！」を合言葉に大分市近郊の森林整備をしています。また、環境教育、障害者の自立支援、地域社会の活性化などの諸問題にも取り組んでいます。



採択団体 NPO法人 大山水環境アスリート

大山町内の河川を活動の場所として、河川環境の保全を図る清掃活動・子どもの健全育成を図るカヌー教室の開催・まちづくりの推進を図る都市と田舎の交流事業としての大山川フェスティバルの開催などを行っています。



採択団体 任意団体 やまくにをひまわりで埋め尽くし隊

東日本大震災の被災地からいただいた種を植え、ひまわり畑を整備しています。また、行政や地域住民と協同(協働)して、地域の活性化を図るとともに、被災地への関心を持ち続け災害への関心や知識を深めています。

